



2015.3.12 ミズベリング千歳会議が開催されました！

2015年3月12日に千歳川が眺められる千歳商工会議所でミズベリング千歳会議開催。



まだまだ雪がある千歳川！

ミズベリング千歳会議は千歳青年会議所（JC）が中心となって実現しました。まずはJCの瀧雄一さんから千歳川への熱い思いと、昨年の夏に Chitose River City Project として開催したイベントの紹介をしてもらいました。



細長い千歳市は温泉がある支笏湖エリア、自然豊かな農村エリア、市街地エリアと地域の魅力的な資源が点在しており、それを一本につなぐのが千歳川で、まちの魅力を高めるのに使わない手はない、ということで昨年「Chitose River City Project」を開始したそうです。プロジェクトでは、10年後の常設型オープンカフェを目指して、まずは2日間のオープンカフェを中心としたイベントで地域の連携を進めていくというもの。その初回となった昨年7月は、2日間で5000人が訪れ大盛況だったそうです。



約 40 人のボランティアスタッフにも支えられ、飲食ブースは 16 店舗が出店、その看板は学生のアイデアで統一感のある手書きのものに。ライブやプロジェクション・マッピング、美人時計撮影会まで開催され、とても楽しい 2 日間になったとのこと。



次に国土交通省河川環境課の田中里佳さんと、ミズベリング・プロジェクト事務局の真田武幸さんからミズベリングのコンセプトを紹介してもらいました。



水辺を活用することの楽しさ、全国には既にどんどん活用されている水辺があること、その水辺は地域の人たちが動かしていること、この会場にいる人や地域みんなが「自分たちが始めるんだ」と感じて欲しいということなどをお話していただきました。

SNS を活用した情報発信のアイデアも多く出され、例えば市民参加型の PR 動画を製作し、それをみんな動画サイトで発信する、まちに現れる面白いキャラクターを写真に撮るなどして SNS に目撃情報をドンドン流すといったものなどが出てきました。

その一方で、まちの外の人にアピールするだけでなく、地元の子どもや地域の人から親しまれる川でなければいけないという大切な意見や託児施設を作るなどの子育てを意識した意見も出されました。

こうして、千歳川の空間を活用しやすくなってきていること、千歳川に興味を持つ人が実はたくさんいること、みんなで考えると面白いアイデアが浮かんでくること、出てきたアイデアの中にはすぐに試していけそうなものもあることなどが参加者の間で共有されて、水辺の輪ができあがりました。この先は、今日できあがった輪を、さらに多くの人たちに広げながら発展させていくことに期待したいです。会議の最後は MIZBERING, GO!



7月には、2回目となる Chitose River City Project のイベントが予定されています。今日出されたアイデアがどう活用されるか楽しみです。